

# 新収行政資料の紹介

元和歌山県農林部長・鳥取県知事

## 遠藤茂旧蔵資料

昭和20年代の和歌山県の農林行政に関する行政資料57点を新たに収集しました。

この資料は、かつて当館に勤めていた方が数年前に大阪の古書市で発見して購入し、令和3年9月、当館へ御寄贈くださったものです。

資料に「遠藤」の押印と「農林部長」の書付があることなどから、これらは昭和25

年（1950）から同29年（1954）まで和歌山県農林部長を務めた、遠藤茂（1906～1981）の旧蔵書であることが判明しました。

ついで

遠藤は鳥取県出身で、昭和期に活躍した農学博士・政治家です。大正15年（1926）に鳥取高等農業学校（現鳥取大学農学部）を卒業後、京都帝国大学勤務などを経て、昭和14年（1939）以後は、朝鮮半島各地の農事試験場で指導を行いました。戦後は兵庫県・和歌山県で公職に就いた後、昭和29年（1954）から同33年（1958）まで鳥取県知事を一期務めま

した。

遠藤が和歌山県農林部長を務めた昭和20年代後半には、食糧の増産が求められる一方、県内では「ジエーン台風」(昭和25年)や「7・18水害」(昭和28年)をはじめ、歴史的な風水害が毎年のように発生し、農林業にも甚大な被害を与えました。

今回収集した資料の中には、こうした災害の被害状況に関する資料のほか、県が発行した農業改良普及資料や試験場の報告書類なども含まれています。

戦後復興期の和歌山県の農林行政を知る上で、たいへん重要な資料群といえます。